

おおさか CAP エコール 実施の手引き

CAP

キャップ

Child Assault Prevention

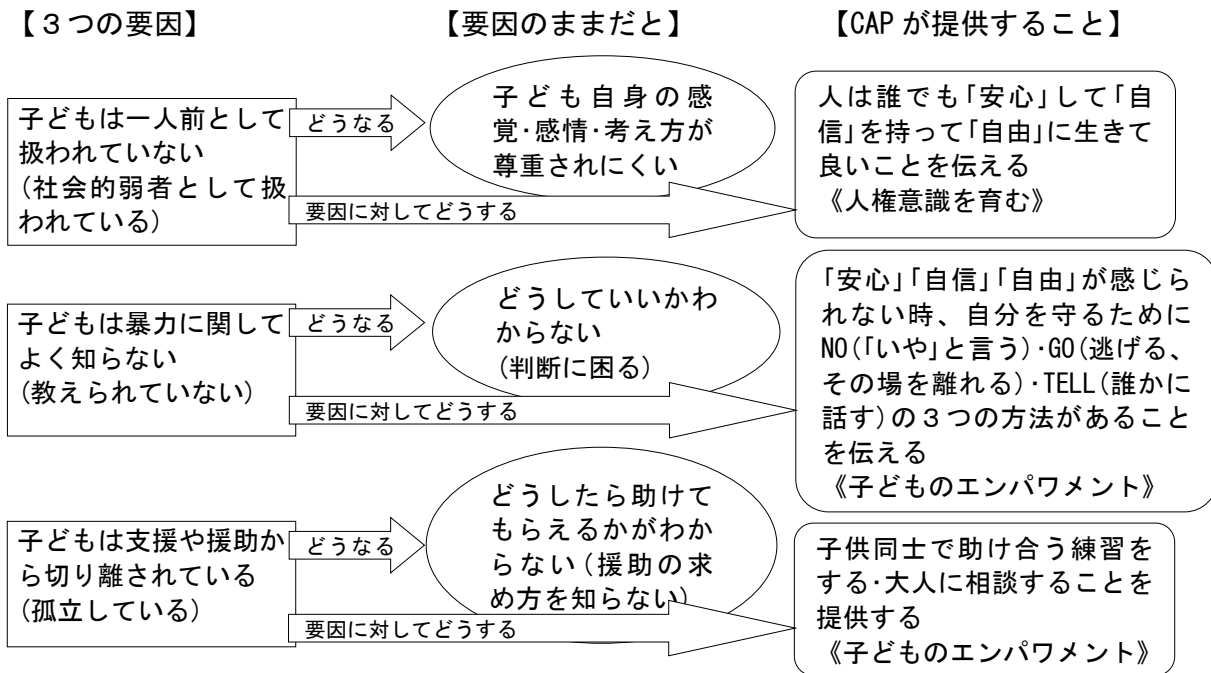
子どもへの暴力防止プログラム

CAP とは・・・

Child Assault Prevention（子どもへの暴力防止）の略で、子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分の心と身体を守るための教育プログラムです。ロールプレイや話し合いを通して、子どもは誰でも生まれながらに持っている大切な3つの権利—「安心」「自信」「自由」があり、もし暴力にあってもその3つの権利が侵害されそうになったら何ができるかを、子どもや保護者、教職員、地域のおとなたちに伝えています。

『どうして子どもは被害にあいやすいのでしょうか』

CAP では、子どもが被害にあいやすい理由を分析し、その背景に3つの要因をあげています。そして、その要因の理由分析に基づいてどうしたらいいのかを伝えます。



CAP プログラム

◎小学生プログラム (2 時限)

◎就学前プログラム (30分+トークタイムを3日間)

子どもワークショップ

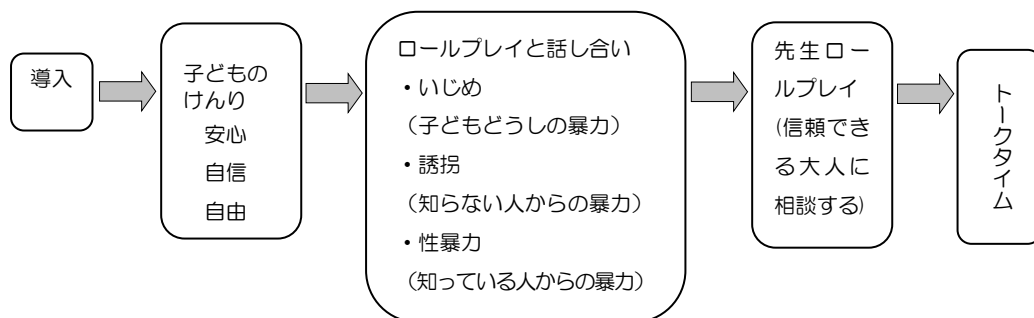
◎中学生暴力防止プログラム(日本限定版)(90分+トークタイムを2日間)

子どもワークショップは、暴力というテーマを、子どもたちが楽しみながら参加できるように工夫されています。子どもたちはロールプレイ(役割劇)を見て話し合いをしながら、CAP スペシャリストと一緒に何ができるのかを考えていきます。年齢に応じて歌や人形劇も取り入れています。子どもワークショップはクラス単位での実施を基本とします。

※子どもワークショップの実施前に、必ずおとなワークショップを開催する必要があります

CAP 小学生プログラムの内容

(約 70 分+トークタイムを1日)



トークタイム

トークタイムは復習の時間ですが、子どもが今まで誰にも話さなかったことをCAP スペシャリストに打ち明ける場合があります。先生(学校)の関与が必要な事例に関しては、子どもの理解を得て(場合によっては子どもを説得して)先生(学校)につなげます。

CAPプログラム おとなワークショップ

◎教職員ワークショップ〔2時間〕

◎保護者ワークショップ〔1時間または2時間〕

おとなワークショップ（教職員ワークショップ、保護者ワークショップ）は、子どもワークショップの前に実施します。CAPワークショップを受ける子どもにとって、周りのおとながCAPのメッセージを知っていることは、CAPで学んだことを活かすのに大きな助けになります。

コミュニティ：家庭・学校・地域をつなぐ

暴力のない社会を作るためには、家庭と学校と地域の協力が不可欠です。学校・家庭・地域がCAPプログラムを通じて、子どもの安全と権利を支えます。

※教職員ワークショップ、保護者ワークショップは、時間や費用などの都合で一緒にすることもできます。その際、いくつかの条件がありますので詳細をお問い合わせ下さい。また、おとな向け講座としての実施もお問い合わせ下さい。

『おとなワークショップ アンケートより』

- 自信を持ってない子、自分の思いを伝えられない子への関わり方の参考になりました。
- ひと言で暴力と言っても、身体だけでなく心も傷つけてしまうという事が改めてわかりました。頭ではわかっているけど、大人の意見を子どもに押し付けているようなところはこれから見直していきたいと思います。
- 安全教室と同じように、定期的に行われると良いと思います。
- どんな子どもでも素晴らしい力を持っている事が、CAPの子どもに対する見方の出発点であるという考え方に共感を覚えます。子どもの感性を大切に内なる力を引き出すという事を初めて知って、このワークショップを支えている考え方に会えて良かったと思いました。



『子どもワークショップ アンケートより』

- 今日はとても楽しかったです。安心、自信、自由をおしえてもらってとてもうれしかったです。しらない人には、ついていきません。（小学3年生）
- 人には、けんりがあることがわかりやすく楽しく教えてくれたのでよかったです。（小学5年生）
- 人にはいろんなことができるようになった。人にはいっぱいけんりがあるとわかった。子どもへの暴力防止をしないとイケないと思った。人にたいしていやなことをしてはいけないと思った。（小学4年生）
- 自分の父は、CAPの劇に出て来る人にそっくりです。父の対応の仕方がわかったような気がしました。（中学1年生）
- 嫌なことは、きちんと断ったら自分の安全が守れるということがわかりました。（中学1年生）

『フォローアップ(3ヶ月後)アンケートより』

- CAP子どもワークショップを受けた次の日に、いつも私を仲間はずれにしていた子の一人から「私が〇〇ちゃんの安心、自信、自由の権利をとってしまった。ごめんね。」とあやまられました。
- 学校からの帰りに軽トラックに乗った男の人に、「お母さんが病気で入院したから連れていってあげる。」と腕をつかまれたが、特別なさげび声を出して逃げることができました。また、警察で人相など覚えていることを話すことができました。
- いやな事があった時に、友達に相談できました。
- 痴漢被害にあったことを誰にも話せなかったが、「あなたが悪いのではない。」と被害を受けた子どもにかけてあげる言葉を知り、あの時の自分は悪くないんだと、涙が出るほどホッとしました。

■CAPワークショップは、CAPスペシャリストが提供します。

■提供料につきましては、別紙をご参照下さい

おおさか CAP エコールは APIS の CAP 提供グループです

APIS Project

*講師派遣

コミュニケーショントレーニング
セルフエンパワメントトレーニング
子育て講座（しつけ、虐待など）
人権ワークショップ
生きている図書館運営、相談

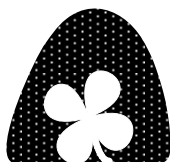
自己尊重トレーニング
自己主張トレーニング
セクシャルハラスメント
ドメスティックバイオレンス
その他相談に応じます

*CAP プログラム提供
*無料電話相談
050-7570-6100
[月・金 10:00~16:00]

APIS Profile

1996年 夏 CAP 提供活動を始める
2000年 7月 事務所の開設（守口市）
2005年 5月 事務所移転（大阪市）
2005年 7月 NPO 法人設立総会
2006年 1月 NPO 法人設立登記

NPO法人暴力防止情報スペース・APIS



〒534-0022 大阪市都島区都島南通2-4-21
TEL 06-6924-5551
FAX 06-6924-5556（常時受付）
Email npo-apis0601@kki.biglobe.ne.jp
URL <http://www.apisnpo.org>